

ルーマニア月報

2025年1月号

本月報はルーマニアの報道をもとに、
日本大使館がとりまとめたものです。

令和7年2月14日
在ルーマニア日本国大使館作成

主要ニュース

【内政】

- 大統領再選挙の日程について、第1回投票が5月4日、決選投票が5月18日に決定。
- 1月中、大統領選挙無効の反対、財政赤字削減に必要なための諸措置への反対等の様々な抗議活動が全国各地で実施。
- 1月15日、検事総長は1990年の炭鉱夫騒擾事件に関する人道に対する罪でイリエスク元大統領とロマン元首相を起訴したと発表。
- 2月12日、ヨハニス大統領はその職を辞任し、ポロジャン上院議長が大統領代行に就任した。

【経済】

- 1月17日、ユーロスタットは、ルーマニアの2024年12月の年間インフレ率がEU加盟国の中で最も高い5.5%であった旨発表。
- 1月16日、世界銀行は、2025年のルーマニア経済は2024年6月時点の3.8%成長予測に対し、2.1%の成長見込みとなる下方修正を発表。
- 1月25日、スタンダード&プアーズ（S&P）は、ルーマニアの格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げ。
- 1月30日、財務省は、2025年の国家予算法の草案を公表。タンツォシュ財務相は、ルーマニア政府の基本方針として、大幅な増税に頼ることなく財政の安定を維持し、投資を活発化させる旨強調（2月1日、ルーマニア政府は国家予算法の草案を承認し、2月6日、議会は国家予算法案を承認）。

【外政】

- 1月1日、ルーマニアは欧州連合（EU）への統合から18年を経て、陸路適用を含め、完全なシェンゲン圏入り。
- 1月22日、イエメンでホーシー派に拘束されていたギャラクシー・リーダー号のルーマニア人船員が解放・帰国。

【防衛・安全保障】

- 1月17日未明、ロシア軍はトウルチャ県とウクライナの国境付近で、ウクライナの民間目標および港湾インフラに対する無人機攻撃を実施。調査の結果、ルーマニア領内の2地域でロシアの無人機の破片を発見。

【我が国との関係】

- 1月22日、在ルーマニア日本国大使館は、ルーマニア外務省の協力の下、「大阪・関西万博推進記者会見・レセプション」を開催。

内政

● 抗議活動

- 1月10日、数千人のジョルジエスク候補支持者らは、ルーマニア憲法裁判所のある議事堂前に集まり、大統領選挙第一回投票を無効とした判断の再審査を要求した。
- 1月12日、ブカレスト市内において、ルーマニア大統領選挙第1回投票の無効の決定に反対するAUR（ルーマニア人統一同盟）主催の抗議行動が実施。抗議行動の参加者はブカレスト市内大学広場から勝利広場（首相府前）までデモ行進を行った。主催者は10万人以上の支持者が抗議行動に参加した旨発表しているが、当地治安機関は公式な参加人数を公表せず。推計3万人と報じるメディアもある。当地メディアによれば、本抗議行動中、5件の犯罪（危険物の携帯・使用2件、不正薬物の売買及び消費2件、爆発物規制1件）を告訴。
- 1月17日には、数千人の国防・公安職員（多くは警察官）がブカレスト市内で緊縮財政に抗議した。
- 1月18日、AUR支持者は、大統領選挙の中止とヨハニス大統領の留任に反対し、国内各地（ドゥンボヴィツァ（Dâmbovița）、プラホヴァ（Prahova）、ボトシャニ（Botoșani）、シビウ（Sibiu）、ブザウ（Buzău）、スチャヴァ（Suceava）、ヴァスルイ（Vaslui）、ムレシュ（Mureș）、サトゥマーレ（Satu-Mare）、ティミショアラ（Timișoara）、ビストリツァ・ナサウド（Bistrița-Năsăud）、オルト（Olt））は、それぞれ数百人規模の抗議デモを行った。ブカレストでは1500人が抗議した。
- ルーマニア二公国統一の日の1月24日、ブカレストの軍事英雄記念碑で、ジョルジエスク元大統領候補が数千人の同支持者と共に抗議活動に参加。シミオン AUR 党首も参加した。勝利広場にいた参加者の一部は憲兵隊の封鎖を突破しようとした。死傷者は記録されていないが、テレビ局 Digi24 チームが、ジョルジエスク支持者から誹謗・中傷を受けた。国家憲兵隊は治安紊乱罪等で3件の犯罪を告訴。

● シミオン AUR 党首が ECR 副党首に就任

- 1月14日、シミオン AUR 党首はブリュッセルで開催された ECR（欧州保守改革グループ）の党大会で、満場一致で副党首に選出された。

● イリエスク大統領の起訴

- 1月15日、検事総長は、市民への弾圧政策を開始したとして1990年の炭鉱夫騒擾事件に関する人道に対する罪でイリエスク元大統領とロマン元首相を起訴したと発表した。

● 大統領選挙再選挙の日程

- 1月28日、コンスタンティン首相府報道官が大統領再選挙の日程につき以下のとおり発表。

■ 投票前の日程

2月18日	選挙期間開始
2月22日	中央選挙管理委員会の設置
3月15日	立候補の届け出の最終提出日
4月4日～5月3日	選挙活動期間

■ 投票日程

(1) 第一回投票

国内投票日

5月4日 7:00～21:00

在外投票日

5月2～3日 7:00～21:00（現地時間）

5月4日 7:00（現地時間）～21:00（ルーマニア時間）

(2) 決選投票（第一回投票で過半数を得た候補者がいない場合、上位 2 名による決選投票に進出）

国内投票日

5月18日 7:00～21:00

在外投票日

5月16～17日 7:00～21:00（現地時間）

5月18日 7:00（現地時間）～21:00（ルーマニア時間）

● **親欧米派政党によるアントネスク統一候補の擁立の承認**

- 親欧米派政党はそれぞれの臨時の党大会等でアントネスク（Crin Antonescu）元大統領代行・元上院議長を統一候補として正式に擁立を承認（1月26日：PNL（国民自由党）、1月29日：UDMR（ハンガリー人民民主同盟）、2月2日：PSD（社会民主党））。

● **ヨハニス大統領の辞任**

- 2月12日、ヨハニス大統領はその職を辞任し、憲法上の規定に従ってボロジャン（Ilie Bolojan）上院議長（PNL（国民自由党）党首）が大統領代行に就任した。また、上院議長代行にはアブルデアン（Mircea Abrudean）上院議員（PNL 事務局長）が就任し、PNL 党首ポストはブレドイウ（Catalin Predoiu）内務相が引き継いだ。

● **世論調査の結果**

CURによる世論調査（調査実施期間 1月12～15日、対象者：1,100名、統計上の誤差は±3%）

- ジョルジエスク候補及びシヨシオアカ候補が出馬を許される場合、大統領選挙で誰に投票するか。
 - ◇ ジョルジエスク（Calin Georgescu）ピテシュティ大学准教授（無所属） 37%
 - ◇ ダン（Nicusor Dan）ブカレスト市長（無所属） 21%
 - ◇ アントネスク（Crin Antonescu）元大統領代行・元上院議長（PSD-PNL-UDMR 統一候補） 18%
 - ◇ ラスコニ（Elena Lasconi）（USR） 7%
 - ◇ シヨシオアカ（Diana Sosoaca）（SOS） 4%
 - ◇ その他 13%
- ジョルジエスク候補及びシヨシオアカ候補が出馬を許されない場合、大統領選挙で誰に投票するか。
 - ◇ シミオン（George Simion）下院議員（AUR） 25%
 - ◇ ダン（Nicusor Dan）ブカレスト市長（無所属） 24%
 - ◇ アントネスク（Crin Antonescu）元大統領代行・元上院議長（PSD-PNL-UDMR 統一候補） 23%
 - ◇ ラスコニ（Elena Lasconi）（USR） 13%
 - ◇ その他 15%
- 議会の政党の支持率

PSD 24%、AUR 22%、PNL 15%、USR 13%、POT 10%、UDMR 5%、SOS 5%、その他 6%

【政党略称】PSD：社会民主党、PNL：国民自由党、AUR：ルーマニア人統一同盟、UDMR：ハンガリー人民民主同盟、USR：ルーマニア救国同盟、POT：青年党、PUSL：社会自由ヒューマニスト党、AFD:右派の力連合

経済

(1) 主要経済統計とりまとめ (国家統計局、財務省、ルーマニア中央銀行 発表とりまとめ)

● 国家統計局 (INS)

	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11
貿易収支 (億€)	-122.883	-150.901	-180.394	-209.199	-234.858	-272.117	N.A.
消費者物価指数(%)	5.12	4.94	5.42	5.10	4.62	4.67	5.11
失業率 (%)	5.4	5.5	5.4	5.5	5.5	5.4	N.A.
平均グロス給与 (€)	1,681	1,706	1,726	1,699	1,721	1,732	N.A.
平均ネット給与 (€)	1,030	1,041	1,054	1,038	1,052	1,060	N.A.

● 財務省 (MF)

	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11
財政収支 (億 lei)	601.042	636.656	710.418	808.702	962.369	1094.167	N.A.
GDP 比 (%)	-3.40	-3.60	-4.02	-4.57	-5.44	-6.19	N.A.

● ルーマニア中央銀行 (BNR)

	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10
政策金利 (%)	7.00	7.00	7.00	6.75	6.50	6.50	6.50
外貨準備高 (億€)	625.11	650.72	643.92	635.79	631.87	657.78	628.41
経常収支 (億€)	-65.76	-91.75	-121.76	-151.78	-178.58	-197.77	-242.10
前年同期 (億€)	-51.91	-68.79	-90.87	-113.28	-138.30	-160.63	-184.53
FDI (億€)	32.30	33.42	32.19	31.21	41.39	53.62	55.12
前年同期 (億€)	24.08	24.65	28.01	39.67	43.82	51.71	59.04
前年同期比 (%)	+34.13	+35.57	+14.92	-21.32	-5.54	+3.69	-6.64
中長期対外債務 (億€)	1267.98	1309.97	1306.62	1318.51	1333.89	1388.23	1381.98
前年末比 (%)	+4.1	+7.6	+7.3	+8.3	+9.2	+13.7	+13.2
短期対外債務 (億€)	450.89	447.56	461.95	484.79	491.35	473.58	481.50
前年末比 (%)	-6.7	-7.4	-4.4	+0.3	+6.3	+2.4	+4.2

● 業種別 (前年同期比) (国家統計局 (INS) ・ユーロスタット)

	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11
鉱工業							
工業生産高 (%)	-6.5	0.5	-3.9	-2.0	-3.6	-0.9	N.A.
工業売上高(名目) (%)	-7.1	2.8	10.5	4.2	6.0	8.2	N.A.
工業製品物価指数 (%)	-1.0	1.1	2.6	2.7	-1.7	-3.3	N.A.
新規工業受注高(名目) (%)	-7.2	-3.4	7.5	2.7	3.3	7.9	N.A.
小売業							
小売業売上高(除:自動車・バイク) (%)	6.1	10.0	7.4	9.2	10.7	10.6	N.A.
自動車・バイク売上高 (%)	-3.3	-0.4	2.3	2.7	-1.6	6.3	N.A.
小売業売上高 ユーロ圏平均 (%)	0.3	-0.3	-0.1	0.8	2.9	1.9	N.A.
小売業売上高 EU 平均 (%)	0.6	0.1	0.4	1.0	2.8	2.1	N.A.
建設業							
工事 (%)	-1.7	-0.4	-2.3	-2.0	3.0	-11.6	N.A.

● 消費者物価指数（国家統計局（INS）・ユーロスタット）

	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11
消費者物価指数(%)	5.12	4.94	5.42	5.10	4.62	4.67	5.11
食料品価格(%)	1.24	1.10	1.71	4.25	4.72	4.75	5.11
非食量品価格(%)	6.38	6.28	6.92	4.35	3.30	3.45	4.15
サービス価格(%)	9.29	8.81	8.52	8.60	7.88	7.66	7.56
ユーロ圏平均	2.6	2.5	2.6	2.2	1.7	2.0	2.2
EU27 カ国平均	2.7	2.6	2.8	2.4	2.1	2.3	2.5

(2) 主要経済関連

● ルーマニア経済、2024 年第 3 四半期は前年同期比 1.2%成長

- 1 月 10 日、ルーマニア政府統計局は、2024 年第 3 四半期のルーマニア経済は、調整前のデータで前年同期比 1.2%増となり、2023 年同期の同 2.3%増を下回る旨の暫定データを発表した。調整済みデータでは、国内総生産は前年同期の 2.9%増に対し、2024 年第 3 四半期は 0.1%減となった。

● ルーマニアの 2024 年 11 月平均給与 手取りで 5,388 レイに上昇

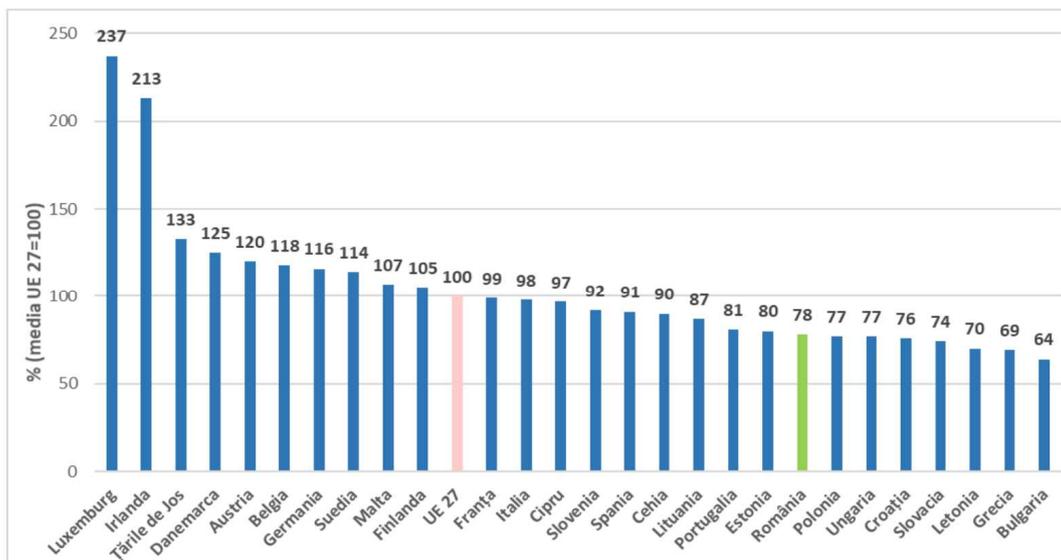
- 1 月 16 日、国家統計局は、2024 年 11 月のルーマニアの平均手取り給与は前月比 120 レイ（2.3%）増の 5,388 レイ（約 1.084 ユーロ）に増加した旨を発表した。11 月の平均税引前給与は 8,825 レイで、前月より 213 レイ（2.5%）増。前年同月比では平均税引き前給与は 13.1%増。

● ルーマニア 2024 年 12 月のインフレ率が 5.5%で EU 最高

- 1 月 17 日、ユーロスタットは、ルーマニアの 2024 年 12 月の年間インフレ率が EU 加盟国の中で最も高い 5.5%であった旨を発表した。次いで高いのはハンガリー（4.8%）、クロアチア（4.5%）。EU27 カ国全体の 2024 年末のインフレ率は 2.7%で、ユーロ圏では 2.4%だった。欧州中央銀行（ECB）の目標インフレ率は 2.0%。

● ルーマニアの購買力平価（PPP）ベースの一人当たり GDP、2023 年には EU 平均の 78%

- 1 月 17 日、国家統計局は、購買力平価（PPP）に基づいて計算されたルーマニアの一人当たり GDP は、2023 年に EU 平均に対して 78%となり、ポーランドやハンガリーの 77%を上回った旨を発表した。



参考：EU 諸国の比較（出典：ルーマニア国家統計局）

● S&P、ルーマニアの格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に格下げ

- 1 月 25 日、S&P は、ルーマニアの格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げ、2024 年末に可決された緊急政令に含まれる財政・予算措置の採択を受け、追加措置がなければ今年の財政赤字は GDP 比 7.5%を超えると警告した。

● 2025 年の国家予算法の決定

- 1月30日、財務省は、2025年の国家予算法の草案を公表した。歳入が3578億1940万レイ、歳出、公約充当金が7445億5480万レイ、予算充当金が5004億4940万レイとされ、1422億2990万レイの赤字の見込み。タンツォシュ財務相は、ルーマニア政府の基本方針として、大幅な増税に頼ることなく財政の安定を維持し、投資を活発化させる旨強調。
- 2月1日、ルーマニア政府は国家予算法の草案を承認した。
- 2月6日、議会は国家予算法案を承認した。

(3) ルーマニアへの投資関連ニュース

● EBRD 2024年にルーマニアで過去最多の44プロジェクトに7億700万ユーロを投資

- 1月16日、欧州復興開発銀行（EBRD）は、2024年にルーマニアで44プロジェクト・7億700万ユーロの投資を実施した旨発表した。2023年の23プロジェクト・6億5800万ユーロの投資に比べ大幅な増加であり、同国のグリーン移行の支援に主眼が置かれている。

● 中国ハイアール社、2021年開設のブラホヴァ工場を閉鎖

- 1月20日、中国のハイアール・グループは、7,000万ユーロを投資して2021年に開設したブラホヴァ工場の閉鎖を発表した。同社は、この決定について収益性を回復するために、ハイアールヨーロッパの広範な変革計画の一環として、主要なリストラ策を含むグローバルな戦略的分析の結果である旨説明。今後は他国に移転されるため、ハイアールはルーマニアでの生産から撤退する。同社はすでにブラホヴァの冷蔵庫工場の従業員1,000人のうち約40%を解雇しており、残りの60%も失職する。

(4) 経済レポート

● 世界銀行 ルーマニアの人口の3分の1が貧困リスクと報告

- 1月6日、世界銀行は、「ルーマニア 貧困と公正概要」報告書を公表し、ルーマニアは2016年から2021年にかけて力強い経済成長を遂げ、その結果貧困が大幅に減少し、貧困リスクのある個人の割合を示す貧困リスク率も、主に年金収入と労働収入の増加に牽引され大幅に低下した旨発表した。
- その一方で、こうした改善にもかかわらず、ルーマニアの絶対的貧困率および相対的貧困率は、未だEUで最高水準にあり、2023年には人口の約3分の1が貧困または社会的排除のリスクにさらされている旨報告した。その他、都市と農村の格差は依然として大きいこと、2022年にEUで最大の労働力人口の男女格差を記録したこと、繁栄の基準に達するためには平均所得がほぼ2倍になる必要があることなどを報告した。

● 世界銀行 ルーマニアの成長見通しを下方修正

- 1月16日、世界銀行は、2025年のルーマニア経済は2024年6月時点の3.8%成長予測に対し、2.1%の成長見込みとなる下方修正を「世界経済見通し」報告書で報告した。2026年のルーマニアの経済成長率は2.6%とし、6月に予測した3.8%から下方修正した。

(5) その他トピックス

● バネアサ空港、再び定期便を就航

- 1月15日、バネアサ空港は、10年以上ぶりに、定期便の就航を再開した。ウイズ・エアは1月15日よりバネアサ空港からナポリ及びクライオバへのフライトを運航しており、今後ワルシャワ及びアブダビへのフライトも追加予定。

● ルーマニアの外国人労働者枠、2025年も10万人に据え置き

- 1月16日、チョラク首相は、政府がルーマニアの外国人労働者枠を承認し、2025年は経済界の要請により2024年と同様10万人とする旨発表した。

- **2024年のルーマニアの空港における航空旅客数は6%増**
 - 1月21日、ルーマニア空港協会（AAR）は、2024年にルーマニアの空港が記録した航空旅客数が2023年比で約6%、2019年比で約12%増加し、2,603万3,000人だった旨を発表。国際線旅客数は増加傾向（2023年比7%増）、国内線旅客数は減少（2023年比6%減）。
- **2024年末までに33.6億個以上の容器包装を回収・リサイクル**
 - 1月28日、デポジット・返金システム（SGR）の管理者であるRetuROは、2023年12月のルーマニア最大の循環型経済プロジェクトの開始以来、2024年末までに33.6億個以上の容器包装が消費者から返却され231,300トンの容器包装をリサイクル業者に引き渡した旨を発表した。同社は、ルーマニア環境ビール製造者協会（30%）、持続可能性のための清涼飲料製造者協会（30%）、環境小売業者協会（20%）の3つの民間株主と、環境・水利・森林省（20%）に代表されるルーマニア国家の公的株主からなるコンソーシアムによって設立されたもの。

外政

- **1月1日、ルーマニアとブルガリアが完全シェンゲン圏入り**
 - 1月1日、ルーマニアは欧州連合（EU）への統合から18年を経て、陸路適用を含め、完全なシェンゲン圏入りした。
- **イエメンでホーシー派に拘束されたルーマニア人船員が帰国**
 - 1月22日、イエメンでホーシー派に拘束されていたギャラクシー・リーダー号のルーマニア人船員が約1年2か月ぶりに解放され帰国。

防衛・安全保障

(1) 事案・イベント等

- **ロシアの無人機、ルーマニアを領空侵犯、領内2地域に落下**
 - 1月17日未明、ロシア軍はトゥルチャ県とウクライナの国境付近で、ウクライナの民間目標および港湾インフラに対する無人機攻撃を実施し、ルーマニア国防省の警戒・監視システムが領空侵犯の状況を確認した。
 - ルーマニア空軍のF-16戦闘機2機が離陸し状況を監視したほか、被害の影響がある地域を国防省などのチームが調査をした結果、チャタルキオイ（Ceatalchioi）とトゥドール・ヴラディミレスク（Tudor Vladimirescu）の間とキリア・ヴェケ（Chilia Veche）の南の2地域で、ロシアのGeran1/2無人機の破片が特定された。インフラへの影響はなく、物的被害も報告されていない。
- **中東で拿捕されていた貨物商船の船員解放される**
 - 1月22日、2023年11月に紅海にてホーシー派により拿捕された日本の海運会社が運航する貨物商船の船員（ブルガリア人船長やルーマニア人、フィリピン人、メキシコ人、ウクライナ人）が約1年2か月ぶりに解放された。
- **ロシアの無人機、ウクライナ領内を攻撃**
 - 1月29日および30日、ロシア軍はルーマニア東部のウクライナ国境付近のウクライナ領内の港湾インフラ等に対する無人機攻撃を実施した。両日ともルーマニア空軍のF-16戦闘機2機が離陸し航空状況を監視した。ルーマニアへの領空侵犯や被害は確認されていない。

(2) 訓練・演習等

- **多国籍演習 STEADFAST DART 25 の実施**
 - 1月22日、多国籍演習 STEADFAST DART 25 が、ルーマニア、ブルガリア、ギリシャの各所で開始された。
 - 本演習は、即応能力と相互運用性の向上を目的として約2か月間にわたり実施され、英国軍の2,600名と730台の車両を筆頭に、ブルガリア、フランス、ギリシャ、イタリア、ルーマニア、スロベニア、スペイン、トルコから合計10,000

人以上が参加する。

(3) 主要な会談・会合等

● 参謀総長、ブリュッセルで日本の統幕長と初会談

- 1月15日から16日にかけて、ルーマニア軍のヴラッド参謀総長（陸軍大将）は、ベルギー・ブリュッセルの NATO 本部で開催された NATO 軍事委員会参謀総長会議（MCCS）に出席した。
- 会議の議題は、ウクライナ支援、NATO 防衛計画プロセス、パートナーとの協力、標準化と相互運用性を加速させるための措置など、進行中のミッションに関連するトピックに焦点を当てた。
- 本会合の傍ら、ヴラッド参謀総長は日本の吉田統合幕僚長（陸将）とも会談し、国防省は「2023年に戦略的パートナーとなったルーマニアと日本の制服組最高幹部による初会談という歴史的な節目を迎えた」と発表した。

(4) 人員・装備品・防衛産業など

● ルーマニア、本年から新たに2個 NATO 戦闘群に部隊を派遣

- 2025年1月から、ルーマニア軍は対戦車部隊を在スロバキア NATO 戦闘群に、調査部隊を在ブルガリア NATO 戦闘群に対して、それぞれ新たに派遣した。
- これにより、ルーマニア軍の NATO 戦闘群への参加規模は2017年から派遣されている在ポーランドと併せて3個戦闘群、総計150名超に拡大された。

● EUFOR ALTHEA、ルーマニアが指揮権を引き継ぎ、空軍部隊を追加

- 1月21日、ボスニア・ヘルツェゴビナにおける EU 治安維持軍（EUFOR ALTHEA）の指揮官にルーマニアの少将が任命され、その指揮権をルーマニアが引き継いだ。
- さらに1月20日からは、ルーマニア空軍の部隊が EUFOR ALTHEA 作戦に参加し、EUFOR の指揮下で24時間体制の医療搬送（MEDEVAC）および輸送・調査任務を主に実施している。

我が国との関係

(1) 二国間関係全般

● 男子水球日本代表 ブカレストで開催されたワールドカップ DIVISION 1 に出場しスーパーファイナルへ進出

- 1月6～13日、ブカレストで男子水球ワールドカップ DIVISION 1 が開催され、出場した日本代表は、ルーマニア、アメリカ、ギリシャ、ジョージア、クロアチアと対戦の末、男子水球史上初となる6位の成績を残し、4月にモンテネグロで開催されるスーパーファイナルへの出場権を獲得した。



● 大阪・関西万博推進記者会見・レセプションの開催

- 1月22日、在ルーマニア日本国大使館は、ルーマニア外務省の協力の元、「大阪・関西万博推進記者会見・レセプション」を開催した。記者会見では、片江大使等から大阪・関西万博のコンセプト・意義や展示会場の企画、公式キャラクター等に関する説明、ノギ国際万博ルーマニア政府代表よりルーマニアによる大阪・関西万博への参加の意義、ルーマニア・パビリオンの建設状況及び予定されている関連行事等に関する説明が行われた。



- 記者会見後、日本産食品の魅力をもつてPRするため、日本産水産物等を使った日本料理や大阪・関西地域でつくられた日本産酒類等をアピールするレセプションを開催。同レセプションでは片江大使の他、コラツェアン上院外交委員長（元外相）、オドベスク首相補佐官（外交・安全保障政策担当、前外相）、ボルベリ首相補佐官（持続可能な開発担当、元環境相）が挨拶をし、それぞれが万博の日ルーマニア関係に与える意義等を述べた。

